



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 ダイハツインフィアース株式会社 上場取引所 東
コード番号 6023 URL <https://www.d-infi.com>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 佳伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 浅田 英樹 TEL 06-6454-2331
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	23,298	11.0	2,289	53.9	2,237	50.8	1,502	28.2
2026年3月期第1四半期	20,980	3.0	1,487	△4.3	1,483	△18.0	1,172	△11.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,513百万円(34.3%) 2026年3月期第1四半期 1,126百万円(△14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	59.10	—
2026年3月期第1四半期	46.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	114,431	49,191	42.9
2026年3月期	110,498	49,432	44.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 49,142百万円 2026年3月期 49,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	69.00	69.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	33.00	—	50.00	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	20.4	4,100	66.5	4,100	60.0	2,900	37.4	114.03
通期	107,000	21.5	10,000	31.2	10,000	25.6	7,100	19.9	279.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	27,350,000株	2026年3月期	31,850,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,918,596株	2026年3月期	6,418,525株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	25,431,436株	2026年3月期1Q	25,399,375株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東地域を巡る地政学的リスクの高まりに伴う資源価格の上昇や為替相場の変動等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

世界経済におきましては、全体として緩やかな成長を維持したものの、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や物流面での不確実性の高まりが景気の下押し要因となりました。中国では不動産市況の低迷や雇用環境悪化等により内需回復の勢いが鈍化し、米国ではAI関連を中心とした設備投資が景気を下支えた一方で、関税政策の影響や人件費の上昇等によるインフレ圧力の継続に加え、通商政策の動向等を背景に、不透明感が継続しました。欧州においては、雇用環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移しました。

当社の主要な販売先である造船・海運業界におきましては、既存船の更新やデュアルフューエル機関をはじめとする環境対応型船舶の建造が進みました。また、環境規制への対応や燃費性能向上を目的とした新造船需要が引き続き堅調に推移し、国内外の造船所は高水準の手持ち工事量を確保しております。

このような企業環境下、当社グループにおきましては、メンテナンス関連売上が引き続き堅調に推移するとともに、ばら積み船やタンカー向け等の中小型機関を中心とした機関販売が伸長しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は23,298百万円（前年同四半期比11.0%増）となり、利益面におきましては、営業利益は2,289百万円（前年同四半期比53.9%増）、経常利益は2,237百万円（前年同四半期比50.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,502百万円（前年同四半期比28.2%増）になりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

<内燃機関部門>

イ) 船用機関関連

機関売上の増加ならびに為替の影響等により、売上高は21,360百万円（前年同四半期比14.3%増）、セグメント利益は3,599百万円（前年同四半期比33.3%増）となりました。

ロ) 陸用機関関連

機関売上が減少したこと等により、売上高は832百万円（前年同四半期比32.2%減）、セグメント損失は223百万円（前年同四半期は239百万円のセグメント損失）となりました。

従いまして、当部門の売上高は22,193百万円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益は3,376百万円（前年同四半期比37.2%増）となりました。

<その他の部門>

イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、販売数が減少したことにより売上高は減少となり、セグメント利益は販売構成が変化したことにより増加となりました。

ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高は微減となり、セグメント利益は減少となりました。

ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高は減少となり、セグメント利益は増加となりました。

ニ) 精密部品関連

精密部品関連に関しましては、売上高は増加となり、セグメント利益は減少となりました。

従いまして、当部門の売上高は1,104百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は41百万円（前年同四半期比47.5%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産の部では、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ278百万円減少となりました。受取手形、売掛金及び契約資産は、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み2,925百万円減少となりました。一方で、棚卸資産は、前連結会計年度末に比べ4,125百万円増加となりました。流動資産その他は、主に前払費用の増加により1,842百万円増加となりました。その結果、資産の部合計が、前連結会計年度末に比べ3,932百万円増加し、114,431百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計が前連結会計年度末に比べ1,648百万円増加となりました。借入金の合計は主に運転資金への充当を目的として2,815百万円増加し、流動負債その他は主に固定資産未払金の増加により1,956百万円増加しました。一方で、未払法人税等は納付により973百万円減少し、賞与引当金は781百万円減少しました。その結果、負債の部合計が、前連結会計年度末に比べ4,174百万円増加し、65,240百万円となりました。

純資産の部では、自己株式の消却を実行したことにより、資本剰余金、利益剰余金および自己株式がそれぞれ減少しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方、配当金の支払により、純資産の部合計は、前連結会計年度末に比べ241百万円減少し、49,191百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末から1.7ポイント低下して、42.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,330	23,052
受取手形、売掛金及び契約資産	19,385	16,459
棚卸資産	21,593	25,719
その他	3,629	5,471
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	67,924	70,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,973	11,817
機械装置及び運搬具（純額）	7,572	8,986
土地	6,497	6,497
建設仮勘定	6,899	7,079
その他（純額）	1,844	1,767
有形固定資産合計	34,787	36,148
無形固定資産	564	543
投資その他の資産		
投資有価証券	2,743	2,889
繰延税金資産	3,888	3,559
その他	593	603
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	7,222	7,049
固定資産合計	42,573	43,741
資産合計	110,498	114,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,745	8,650
電子記録債務	4,460	4,204
短期借入金	12,656	15,518
リース債務	38	33
未払法人税等	1,400	426
契約負債	9,351	9,413
賞与引当金	1,419	637
役員賞与引当金	143	41
未払費用	5,714	5,112
その他	3,709	5,665
流動負債合計	45,639	49,705
固定負債		
長期借入金	6,729	6,682
リース債務	55	51
役員退職慰労引当金	54	38
退職給付に係る負債	5,926	6,104
資産除去債務	293	292
その他	2,368	2,365
固定負債合計	15,427	15,534
負債合計	61,066	65,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,253	2,171
利益剰余金	53,644	45,659
自己株式	△11,147	△3,332
株主資本合計	47,185	46,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,018	1,117
繰延ヘッジ損益	△279	△338
為替換算調整勘定	321	364
退職給付に係る調整累計額	1,135	1,065
その他の包括利益累計額合計	2,195	2,209
非支配株主持分	52	48
純資産合計	49,432	49,191
負債純資産合計	110,498	114,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	20,980	23,298
売上原価	16,179	17,416
売上総利益	4,800	5,881
販売費及び一般管理費		
販売費	2,261	2,463
一般管理費	1,051	1,128
販売費及び一般管理費合計	3,312	3,592
営業利益	1,487	2,289
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	19	25
業務受託料	17	18
貸倒引当金戻入額	1	1
雑収入	52	23
営業外収益合計	94	70
営業外費用		
支払利息	36	65
為替差損	55	48
雑損失	8	8
営業外費用合計	99	122
経常利益	1,483	2,237
特別利益		
国庫補助金	—	83
特別利益合計	—	83
特別損失		
固定資産廃棄損	32	3
固定資産圧縮損	—	83
特別損失合計	32	87
税金等調整前四半期純利益	1,451	2,233
法人税、住民税及び事業税	258	399
法人税等調整額	13	334
法人税等合計	272	734
四半期純利益	1,178	1,499
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,172	1,502

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,178	1,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	99
繰延ヘッジ損益	33	△59
為替換算調整勘定	△18	42
退職給付に係る調整額	△97	△69
その他の包括利益合計	△51	14
四半期包括利益	1,126	1,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,120	1,517
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(自己株式の消却)

当社は、2026年5月8日開催の取締役会の決議に基づき、2026年5月29日付で自己株式4,500,000株の消却を実施しました。これにより、資本剰余金82百万円、利益剰余金7,733百万円および自己株式7,815百万円がそれぞれ減少しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,171百万円、利益剰余金が45,659百万円、自己株式が3,332百万円となっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	750百万円	919百万円

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	舶用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	18,694	1,229	19,923	1,056	20,980	—	20,980
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	18,694	1,229	19,923	1,056	20,980	—	20,980
セグメント利益又 は損失(△)	2,700	△239	2,461	78	2,539	△1,051	1,487

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	舶用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	21,360	832	22,193	1,104	23,298	—	23,298
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,360	832	22,193	1,104	23,298	—	23,298
セグメント利益又 は損失(△)	3,599	△223	3,376	41	3,417	△1,128	2,289

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期増減率
	馬力		%
内燃機関部門			
船用機関関連	314,904	21,360	14.3
陸用機関関連	1,201	832	△32.2
その他の部門	—	947	5.5
合 計		23,141	11.1

（注）①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数 量	金 額	前年同四半期増減率	数 量	金 額	前年同四半期増減率
	馬力		%	馬力		%
内燃機関部門						
船用機関関連	408,927	24,860 (16,841)	△24.5	2,575,692	105,783 (66,699)	30.9
陸用機関関連	6,953	6,271 (6)	69.9	103,495	14,957 (567)	55.5
その他の部門	—	1,168 (—)	9.7	—	1,917 (—)	30.8
合 計		32,300 (16,847)	△14.3		122,659 (67,267)	33.4

（注）①金額は、販売価格によっております。

②（ ）内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	数量	金額	輸出比率	前年同四半期増減率
	馬力		%	%
内燃機関部門				
船用機関関連	314,904	21,360 (15,074)	70.6	14.3
陸用機関関連	1,201	832 (6)	0.7	△32.2
その他の部門	—	1,104 (—)	—	4.5
合 計		23,298 (15,080)	64.7	11.0

（注）①（ ）内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

アジア（77.3%）、欧州（13.7%）、中南米（4.6%）、北米（3.7%）、その他（0.7%）

③「その他の部門」には精密部品関連(701百万円)、産業機器関連(246百万円)および不動産賃貸関連等(156百万円)を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。